

平成29年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分
2. 問題数 25題（四肢択一法）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
 - (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
 - (4) 試験開始の合図で始めてください。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
 - (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
 - (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
 - (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に備えておくべき事項に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 熟達した運動能力
2. 豊富な知識
3. 現場を効率的にまとめるマネジメント能力
4. 日左連の資格認定を受けたもの

問題 2 登録左官基幹技能者の仕事内容に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 施工管理技術者への施工方法の提案や調整を行う
2. 他職種の登録基幹技能者や職長に対して前工程や後工程に配慮した連絡調整を行う。
3. 登録左官基幹技能者の部下の技能労働者には現場のマネジメントを教育する。
4. 登録左官基幹技能者の部下の技能労働者の作業を含む施工に係る指示や指導を行う。

問題 3 登録基幹技能者の制度に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 初級技能者を「見習い」という。
2. 中級技能者を「中堅技能者」という。
3. 上級技能者を「基幹技能者」という。
4. 最上級技能者かつ上級職長であり資格試験に合格したものを「登録基幹技能者」という。

問題 4 登録基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大や建設産業の担い手の確保・育成に対応して品確法が改正され、その内容に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 品確法の目的は、現在および将来の公共工事の品質確保をすることである。
2. 品確法の目的は、公共工事の品質確保の担い手の中長期的な確保・育成の促進を行うことである。
3. 品確法の基本理念は、施工技術の維持向上とそれを有する者の中長期的な確保・育成をすることである。
4. 品確法の基本理念は、災害と同時にいち早く現地対応することができる現場人材を育成することである。

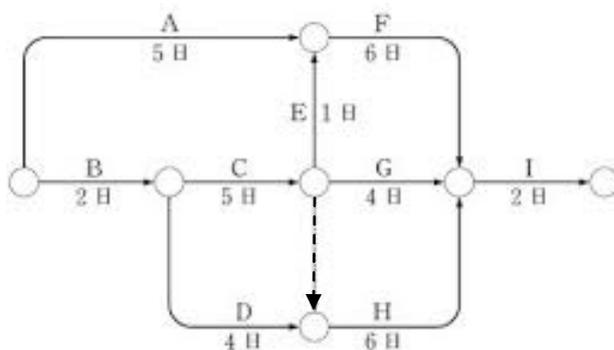
問題5 職業能力基準のイメージ「レベル4」の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 高度な技術力を有する。
2. 建設現場での施工管理や工法、技術等について建築主と協議することができる。
3. 他職種との調整を行うことができる。
4. 品質・工程・原価・安全・環境等の施工における総合的な管理ができる。

問題6 コンプライアンスの違反に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 近年、工期や施工上の問題からマンション建設における電流計データを流用した「鉄骨工事偽装問題」があった。
2. 近年、施工費を下げるために建築士によるマンションやホテル建設の「耐震偽装問題」があった。
3. 過去には、コンクリート打設を容易にするために生コンクリートに加水する「品質低下問題」があった。
4. 過去には、混練り開始から3時間以上経たセメントモルタルに加水して再使用する「品質低下問題」があった。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



(注) ↓ は、ダミーを示す。

1. クリティカルパスは、B→C→E→F→Iである。
2. この現場の工期は、16日である。
3. G作業の最早開始時刻(EST)は7日である。
4. F作業の最大の余裕日数(TF)は2日である。

問題 8 労働災害時の専門工事業における事業者責任の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ひとたび労働災害が発生すれば、専門工事業の経営者には、刑事責任、民事責任、行政責任が重くのしかかる。
2. 労働災害が起こった場合、被災者の雇用主の専門工事業の経営者は法的な事業者責任を背負う。
3. 労働災害を発生させた場合、まず問題になるのは、刑法の「業務上過失致死傷」と「労働安全衛生法違反」である。
4. 業務上過失致死傷の罰則は、10年以上の懲役、もしくは禁固、または1000万円以下の罰金が科せられ、大変重いものである。

問題 9 労働安全衛生法における作業主任者の必要な業務に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 足場の組立等の作業
2. 屋内等での有機溶剤製造取扱い作業
3. 左官のセメントモルタル等取扱い作業
4. 型枠支保工の組立てまたは解体作業

問題 10 ブレーンストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BSは、5～7人程度の少人数の集団で、ある人の意見やアイデアに関して他の人たちが連鎖反応を示し、多彩・豊富・独創的な考え方を引き出す働きがある。
2. BSのルールでは、他人の意見をしっかりと批判し、中身を吟味することが優先されることから、安心して誰もが自由にアイデアを述べることができる。
3. BSのメンバーは、専門家、他分野の専門家、ゼネラリスト等で構成することが望ましい。
4. BSにおけるアイデアや意見に関する連鎖反応は、チーム全体の楽しさや競争心を生み出すことにつながっている。

問題 1 1 左官下地と塗り層との寸法変化（ムーブメント）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 熱冷ムーブメントとは、異なった材料の境界面でおきる変形挙動をいう。
2. 乾湿ムーブメントをモイスタームーブメントともいう。
3. 熱冷ムーブメントをサーマルムーブメントともいう。
4. 乾湿ムーブメントとは、乾燥と湿潤の繰り返し変化によっておきる変形挙動をいう。

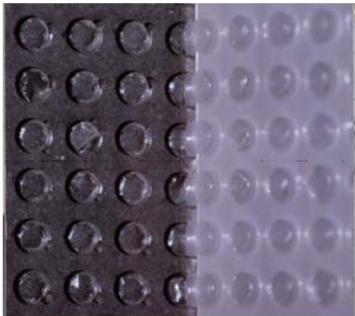
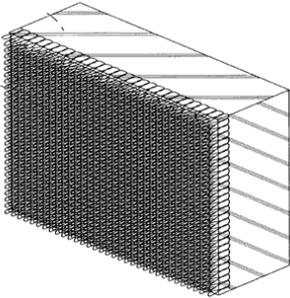
問題 1 2 JIS A 6909(建築用仕上塗材)の仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装厚塗材Gとは、内装せっこう系厚付け仕上塗材のことである。
2. 外装薄塗材Eとは、外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材のことである。
3. 内装薄塗材Wとは、内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材のことである。
4. 内装薄塗材Cとは、内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材のことである。

問題 1 3 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. セルフレベリングとは、流しこむだけで平坦になる性質をいう。
2. シーリング材料はひび割れや隙間を充填する詰め物の材料をいう。
3. グラウトとは、ひび割部にセメントペースト等の結合材を注入することをいう。
4. スラリーとは、液体中に細かい固体粒子が濃厚に混合され、かつ安定の状態にあるものをいう。

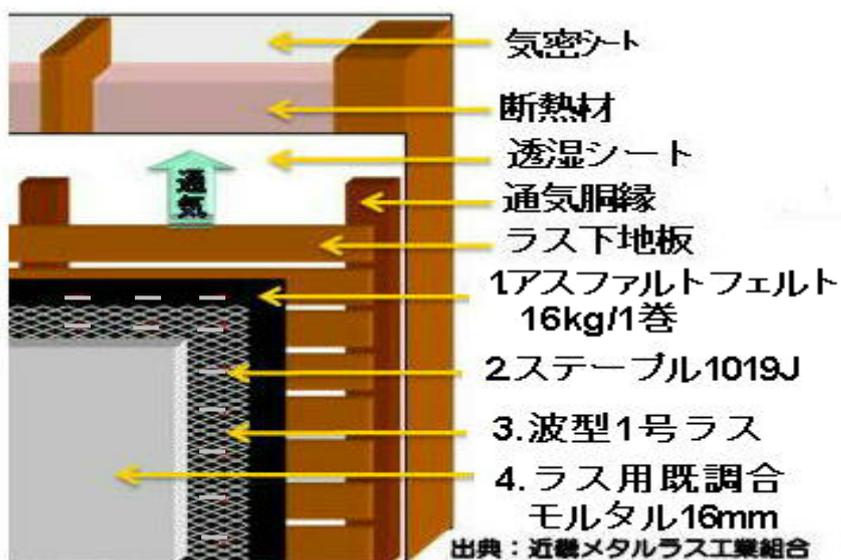
問題 1 4 コンクリート表面の処理後の表面状態と処理方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1.	<p>高圧水洗浄の例（吐出圧 50N/mm²）である。</p>	
2.	<p>専用シートによる凹凸処理</p>	
3.	<p>カップサンダー掛け</p>	
4.	<p>専用シートによる起毛処理</p>	

問題 15 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上面が平坦であること。
2. 仕上面の状態が全壁面に関して一様であること。
3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
4. 必要な強度があり、表面硬度が高いこと。

問題 16 二層下地通気構法を示す図に関して、最も不適当なものはどれか。



1. アスファルトフェルト 16kg/1 巻
2. ステープル 1019J
3. 波型 1 号ラス
4. 既調合モルタル 16mm

問題 17 ALCパネル下地及び現場調合セメントモルタル塗り工法の塗り厚に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ALC パネルジョイント部は、パネル取付け構法に応じた所定の位置や、出入隅部、他部材との取合い部にも伸縮目地を設ける。
2. ALCパネルは、左官塗りの下地として、厚手の左官塗りを行ってはならない。
3. 1回の塗り厚は、6mm を標準とし、12mm を限度とする。
4. 仕上げ厚は、天井、庇を 12mm 以下とし、その他は 25 mm以下とする。

問題 18 用語の定義に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 硬化不良とはコンクリートが予定の日数を経て、十分に硬化する筈であるのに、全く硬化せず、壁や床の躯体としての性能の硬さに至らないことである。
2. 白華とは「ブリージング」ともいい、レンガ目地、コンクリート等の表面に発生する結晶化した白色の物質のことである。
3. コールドジョイントとはコンクリート打ち込み継続中、前の層のコンクリートを打ち込んでから相当時間経過した後に、次のコンクリートが打ち継がれたときに生ずる不連続面のことである。
4. ジャンカとは型枠解体後、硬化したコンクリートの表面に見られる、空隙の多い不均質な砂利の露出、凝集部分のことである。

問題 19 施工計画の目的に関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンプライアンスを遵守する。
2. 所定の工事期間内に施工する。
3. 適切な価格で施工する。
4. 適切な品質を確保する。

問題 20 基本計画における基本方針に関して、最も不適当なものはどれか。

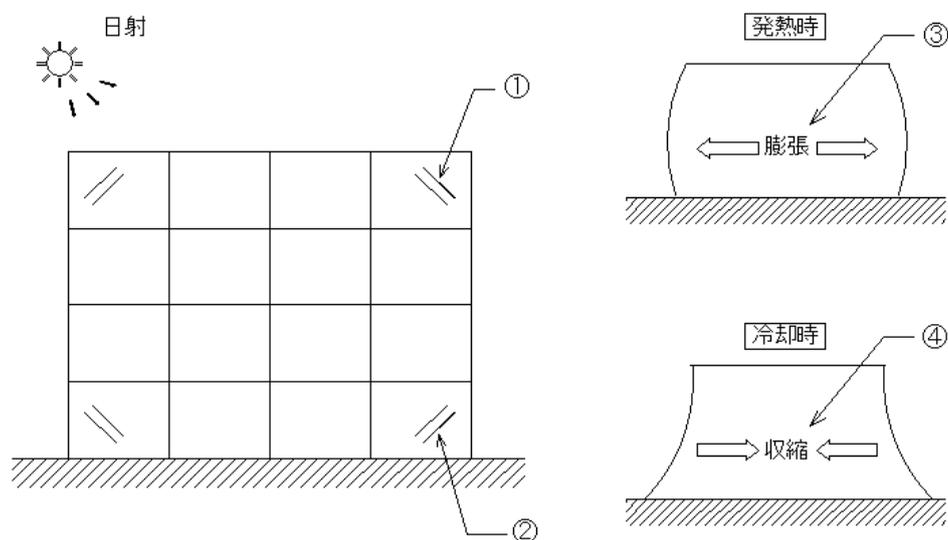
1. 繰り返し作業により習熟を図り、効率を高める。
2. 現場の制約等を考慮して資機材、労働力などの円滑な回転を図る。
3. 全体工期、全体工費に及ぼす影響の大きい工程を優先して考える。
4. 不具合が発生した場合は、全体のバランスを考え、作業を集中させて調整する。

問題 2 1 実行予算に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 積算段階での見込み数量や、標準的な単価等を根拠に作成する。
2. ゼネコンが行う原価管理での基準・目標となる。
3. 工事を実行するのに必要な費用をできるだけ精密に予測・算出する。
4. 受注後に、各種の具体的な施工計画を立て、工程ごと、作業ごとに分類し、発注先ごとにとりまとめる。

問題 2 2 下図のような鉄筋コンクリート造の建物に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 膨張して固まったコンクリートが冷却する際、基礎等で拘束されると④のように収縮し、クラックを発生させる。
2. 建物の上階は、日射を受けて収縮しやすく、内側に縮もうとする。よって、①のように「ハの字型」にクラックが発生しやすい。
3. コンクリートが硬化する際、コンクリート内部が③のように熱膨張し、低温の表面部が引っ張られてクラックを発生させる。
4. 下階は乾燥収縮で縮もうとするが、基礎等に拘束されているため、②のように逆ハの字型にクラックが発生しやすい。



問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による死亡者数は、この半世紀で約 50%が減少した。
2. 建設業の就業者に対する死亡者の比率は、他産業に比較して高い産業である。
3. 亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落による事故が約 40%で最も多い。
4. 建設業の安全対策が難しい理由のひとつは、多業種の専門工事業者が現場内に入場していることが挙げられる。

問題 2 4 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 3.0m の所で施工する足場組立・解体には、作業床を設置する必要がある。
2. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
3. 玉掛け作業に従事する作業者は、特に玉掛け技能講習を修了する必要がある。
4. 居ながらリフォーム工事では、感電、ガス爆発に注意する必要がある。

問題 2 5 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 安全管理を進めるために、ハインリッヒの法則に従って「ヒヤリ」「ハット」の芽を摘み取ることは有効である。
2. 複数業者が混在する 75 人の建設現場では、安全管理のために特定元方事業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
3. 労働災害が発生すれば、経営者は刑事責任、民事責任、行政責任が事業者責任として背負うことになる。
4. 小規模事業者であれば、新たに現場内に入場する作業員の安全教育のための新規入場者教育を省略することができる。